

2021. 01. 17. 「聖書預言・アップデート/ビッグテック。更に偉大な神。」

<https://www.youtube.com/watch?v=2zjXUueZKzY>

『ビッグテック（巨大企業） / 更に偉大な神。』おはようございます。第一礼拝のライブ配信へようこそ。これは「聖書預言・アップデート」で、すぐお分かりかと思いますが、早速本題に入ります。今日は、ビッグテック（巨大企業・巨人）の話と、いかに検閲が、私たちの、はるかに偉大な神の御手の中にあるのかをお話したいと思います。先週の、聖書預言・アップデート「決断の時」というタイトルの動画を YouTube が、“医学的誤情報”として利用規約違反のレッテルを貼り、検閲・削除したのは、皆さん、ご存知かと思いますが。水曜日の夕方遅くまでの4日間で30万回以上の再生回数を記録した後のことです。その動画をご覧になりたい方のために、JDFarag.org：預言ウェブサイトへのリンクを提供します。誰にも言わないでください。YouTube に伝えしないでください。先週、動画が削除される前に、その動画を見た結果、イエス・キリストの救いにたどり着かれた証を、私たちが把握している限りでは、3人以上の方から頂いています。ありがたいことに、まだ Youtube を利用できていますが、12年間で、2000本以上の礼拝動画を公開し、約25万人もの登録者がおられますが、あと2回検閲に引っかかれば、終わりです。チャンネルは削除されます。昨年、主が、JDFarag.org の構築を示唆されたのは、それを見越しての理由からでした。「箴言 22 章 3 節」は、教えています。「思慮深い人は災難が来るとみれば身を隠す。浅はかな者は通り抜けようとして痛い目に遭う。」簡単に言えば、この悪が来るのを見ていたからこそ、全ての「預言アップ」や関連の”行き先”とするため、検閲不可のこのウェブサイトを立て上げたのです。私たちは、このウェブサイトを段階的に展開していく計画で、現在はまだ、第1段階（フレーズ1）です。皆さんの忍耐と、私たちのための祈りに大変感謝します。御心なら、まもなく、JDFarag.org から直接ライブ配信する、ビッグテック以外のホスティングリソースを追加で構築し、同時に、YouTube などのプラットフォームに可能な限り留まる予定です。その間、前に進むために、私たちが取る姿勢は、「蛇のように賢く、鳩のように素直に」です。

（マタイ 10：16）私たちは、このようなことに驚きも揺ぶられもしませんが、主が、どのように私たちがこの状況から乗り越えさせられたいのか、見極められるように、皆さんの祈りを切望します。言うまでもなく、これは「ビッグテック・巨大企業」の権力、支配、検閲の始まりに過ぎないようです。しかし、神は。しかし、神は。「ビッグテック・巨大企業」は、悪を企んでいます”しかし、神は”、こんにち、多くの人々への救いをもたらすため、神だけが御出来になる方法で、それを善に働かせてくださるのです。ヨセフが、「創世記 50 章 20 節」で兄弟たちに言った通りに。それは神だけが御出来になることです。「あなたがしていること。それはとても邪悪です。しかし、神は、神だけが御出来になる方法で、あなたが意図したその悪を使って、編成し、取り計らい、演出され、こんにち、大勢の人々が救われるよう、善をもたらされます。確か詩篇 72 篇だったと思うのですが、木曜日の夜の礼拝後、自分のメモにないものには、注意する必要があります。使徒 (Apostles) を書 (Epistles) と言い間違えたりしていますから。冗談です。そこまで酷くはありません。しかし、私が言いたいのは、詩篇 72 篇で、その詩人が書いているのは、神は、神だけが御出来になる方法で人の怒りを、ご自分の賛美のためにお使いになられるのです。神は、人間の怒りを取り、ご自分への栄光に変えることが御出来になるのです。主を褒めたたえ、人々を主のもとへ連れてくる。それが神の今なさっておられることなのです。そして、お許しいただけるなら、それが今日、私が話したい内容です。具体的

にお話したいのは、神は、巨大企業（巨人）を私たちの手に渡されるだけでなく、まさにその巨人を使って、成し遂げられることに関してです。実に、主がなさることは、面白いです。第二礼拝は、ハワイ時間の11時15分にライブ配信されます。皆さん是非ご参加ください。現在「第二テモテ」で、3章10～13節が学ぶ箇所です。先週、9節までしか進まなかった理由がわかりました。理由は、10節からは、使徒パウロがテモテに、終わりの時、キリスト・イエスに結ばれて信心深く生きようとする者は迫害を受けると語り始めるからです。今日は、そのことについて話します。お許しいただけるなら、数週間前休暇中に、家族と一緒に過ごし、主とより多くの時間を過ごしていたとき、主が私に教えてくださったことを皆さんに共有したいと思います。彼は、私の心を、聖書全体の中で私の絶対的なお気に入りの一節に向けられました。第一サムエル17章です。そう皆さん良くご存知ですね。まだ大変若いダビデが、非常に大きな巨人を討ち取る場面です。「まだ大変若い」と言うのは、本当に若いという意味で、私たちには、彼が何歳だったのか、正確には分かりませんが、聖書からは、彼が大体16歳～19歳くらいの年齢だったと推測できます。そして、因みに、決して相手の名前を言及するつもりはありません。皆さん、彼の名前をご存知ですね。それを言わないでください。私は、それを口にすることもありません。皆さん、理由がわかりますか？理由は2つです。1つ目：ダビデが、決して彼の口から、その名前を言及したり、発したりしないからです。2つ目：その名前が意味することのためです。チャンピオン/優れた英雄を意味するからです。いいえ、チャンピオンではありません。実際は、巨人でもありません。「あなたの体格は、大きいかもしれませんが、私の神はより大きい。そしてちなみに、あなたは私の無限で偉大な神に逆らった、醜く、大きな、無割礼のペリシテ人だ。」私が付け加えました。ダビデがそう言ったのではなく、いや彼はそう言ったでしょう。先走ってしまいました。お許してください。しかし、私は、第一サムエル17章に、実際、数日間費やしました。私はそれを何度も読みました。今まで2回教えたことがあります。しかし今回、そして今、その理由がまた分かったのですが、主はこの一節を皆さんと分かち合うための、このような時のために、こんにち、私に導いてくださったのです。ここから、私たちが、新たな希望と励ましていっばいになることを願っています。それは、私たちの人生での、巨人との戦いについてを、語っています。皆さんには、立ち向かう巨人があられますか？あられると思います。私たちには皆、非常に大きな巨人が一人います。その名前は口にしません。一満面の笑みー理由は明らかだと思います。しかし、この人類歴史のこの最後の時に、希望と勝利と励ましのメッセージです。始める前に、まず簡単に背景をお話ししたいと思います。それから、人生を変える7つの真理と、そこから12の教訓を適応しながら見ていきたいと思っています。ことの全ては、ペリシテ人が、実際イスラエルに属する土地を占領していたときに始まりました。何年経っても、あまり変わっていないような気がしますよね？私たちと一緒にイスラエルに行ったことのある方のために、これはエラの谷です。そこに一緒におられましたね。谷間を挟んで両側に、二つの丘がありますね。ペリシテ人は、イスラエル人に対して谷を挟んで片側に陣を張り、イスラエル側は、反対側に陣を敷いたと言われていました。そしてこのペリシテ人の巨人が、イスラエル人に向かってそこで叫んでいたと言われていました。あえて”叫んでいた”という言葉を使います。彼らの神を冒瀆し、イスラエルの軍勢と生ける神に敵対し、彼らを恐怖に陥れ、麻痺させたのです。そして、これは40日40夜続きます。一方、父親のエッサイは、ダビデにこう言います。「息子よ。ここに来なさい。このパンとチーズを持って、戦場に届けに行きなさい。不在の間、お前が世話をしている羊たちは人に任せておきなさい。」

「これを彼らに届けに行き、兄さんたちの安否を確かめ、そのしるしをもらって来なさい。」（第一サムエル 17:17~18）

彼には、3人の兄弟がいました。因みに、恐らくダビデが少なくとも20歳に満たなかったのが分かる理由の一つは、20歳の年齢に達すれば、戦場に出るからです。聖書によると、20歳になれば、です。

「レビ記」に記述があったと思います。だから私たちは、彼が20歳未満だったことが分かります。彼の3人の兄弟は、20歳以上で、彼らは戦場に出ているので、父親は彼らがどのようにしているかを知りたいと思っているのです。だから彼はダビデを送るのです。戦地に着くとすぐ、ダビデは、この無割礼なペリシテ人が自分の神と生ける神の軍隊を、冒流しているのを聞きます。一度耳にします。我慢できません。ダビデは兵士たちの所へ行き、言います。「一体どうなっているのですか？」彼らはダビデに言います。「ああ、あの巨人を討ち取る者があれば、王が何をしてくださるか聞いたか？」

「生涯非課税にしてくれるそうだ。」—(笑)— 「それだけでなく、追加料金なしで、、、（馬鹿げたこういう説明をお許しください）王は、この巨人を討ち取る者に王女もくださるそうだ。」（第一サムエル 17:25~27 参照）皆さん、ダビデの反応をご存知ですか？「何ですって？この巨人を討ち取る者はどうなるのですか？」ダビデは、王の娘との結婚など完全無視です。生涯非課税になるのも、完全に無視です。彼は、たった一つのことにしか口にしません。皆さん、その一つが何だったかご存知ですか？「イスラエルの軍と生ける神へのこの恥辱を取り除く者は、どうされるのですか？」「そんなことどうでもいいです。私があいつを黙らせます。」「あの醜い大口を黙らせる。ところで…」（これは物語の中にはありませんが、お許しください。）「あなたがたは、40日40夜これを聞いていたのですか？恥を知るべきです！！！」「一体どうなっているのですか！！！」ペリシテ人が40日40夜、一日中、毎日、一晩中、毎夜このようなするたびに、イスラエルの民は逃げ出したと、興味深い詳細が語られています。彼らは恐怖で逃げ出したのです。恐怖のあまり完全に麻痺しました。ダビデはこういう感じです。「これは許せない。」それから、彼は兵士のところから出て、誰に出くわしたのでしょうか。長兄のエリアブでした。皆さん、何が起こったかご存知ですか？彼の長兄、エリアブは、末の弟、ダビデを見てこう言います。「ここで何をしているんだ？」「ここは男の戦場だ。家に帰って羊の世話をしている！このチビが。」繰り返しますが、私は付け加えています。実際はそれよりも悪く、見下したのです。そして、これは、ダビデの長兄です。そしてダビデは、私はこれが大好きです。皆さんがお持ちの聖書訳によりますが、ダビデは、最年長の兄にこう言います。その時代の文化的なダイナミクスを理解しなければなりません。それは現代と似ていますが、彼は兄を見て言います。「わたしが、今、何をしたというのですか。」（第一サムエル 17:29）つまり、弟が兄に言いがちなことなんです。しかし、ダビデは、目の前の問題に戻ります。それは深刻な問題なのです。

「どうなっているのですか。」「どうしたんですか。」「彼の言ったことを聞きましたか。」「ああ、彼が言ったことを聞きたよ。今すぐ家に帰りなさい。」「いいえ。」

「私に戦わせてください。だれも恐れてはいけません。ダビデがここにいます。」（第一サムエル 17:32 参照）

それで彼らは、ダビデをサウルの所へ連れて行きます。想像してみてください。神は、私たちに知性と想像力を与えられました。皆さんが、理解するために、心の目でこれを見てほしいのです。ここに、非常にハンサムで血色の良い17歳の少年がいます。もしかしたら、もう運転免許証を持っているかもしれないですが、分かりません。背の高いことで知られているサウル王のもとに、彼らは、ダビデを

連れて行きます。ダビデは、サウルにこう言います。「すみません。恐れながら王様、私はこれに我慢なりません。私にやらせてください。」サウルは、どうするでしょうか？説得しようとし、ダビデはどうするでしょうか？王が、ダビデにやめさせようと説得していることを、ダビデはやらせてもらえるように説得します。そして、サウルがすることは？彼は、誰もがやるであろうことをします。自分の鎧をダビデに着せるのです。そして、サウルの鎧を着けたダビデがいて、彼は、歩くことさえできないと言われていました。そして彼は、再びサウル王を見て言います。「失礼ながら王様。私のサイズではないし、合わないの、使えそうにありません。」彼はそれを脱ぎ去ります。その後、彼は戦場に送り出され、この巨人、この醜い巨人が、激怒します。彼は、ダビデを侮ったと言われて、「冗談か?!」「待てよ。カメラはどこ?いたずらか?どうなってるんだ?」「わたしは犬か?追いかけてこでもするのか?」(第一サムエル 17:43 参照)それが基本的に、彼が聞いて言ったことです。ダビデは、はっきり言います。「お前は全然分かっていない。醜い巨人よ。」「お前は、これがお前と私の問題だと思っているからだ。そうではない。」「お前は剣や槍や投げ槍でわたしに向かってくるが、わたしはお前が挑戦したイスラエルの戦列の神、万軍の主の名によってお前に立ち向かう。」(第一サムエル 17:45)「私が何をしようとしているのかわかるのか。デカく醜い巨人よ。わたしがお前を討ち取る。」「お前を殺した後、お前の首を刎ねて、その醜い頭をみんなに見せてやる。そうすれば、誰もが私の神が真の生ける神であることを知り、お前が神に逆らったことを知るのだ。どうだ!!!」さて、私はここで少し気を静めなければいけませんが、これは聖化された、はい!つまり、まず初めに、ダビデが出て行くときの、イスラエル人の軍隊さえ、皆さん想像できますか?この時点で、ペリシテ人どころではありません。ここにこの小さな10代の若者が来ます。彼は鎧を着ておらず、剣さえ持っていないのです。石投げ紐と、滑らかな石を5つ持っているだけです。皆さんの最初の反応は、「ああもう、見てられない。だめだ。」彼をととても可哀そうに思います。しかし、ダビデが口を開いた後、ダビデを可哀そうに思う気持ちから、この大きな醜い巨人を気の毒に思うようになります。神が最終決定権を持っておられるからです。神が持っておられるのです。それでは、最初のものから始めましょう。そこに聖書の参照を入れます。この最初の一は一目瞭然のように見えますが、これは、霊的な戦いです。第一サムエル17章4から7節に、いくつかの興味深い詳細があります。この巨人の背丈は、6キュビト半で、彼の鉄の槍の穂先は、600シェケルの重量で、そして、彼は鎧6枚を身に付けていたと語られています。皆さん、点と点が繋がりますか?数字を考えてみてください。666の類型論を見るのは、初めてではありません。「ダニエル書」でも再び、666の描写があります。6つの楽器による音楽が聞こえれば、ひれ伏して6つの楽器で660の像に拝む。これが反キリストの予型・縮図です。(ダニエル 3:1~7 参照)ああ、ところで、シャドラク、メシャク、アベド・ネゴは、イスラエルの縮図です。いつもより7倍も熱い、燃えさかる炉に投げ込まれ、7倍熱い炉の中で、救われます7年間の患難時代に救われるイスラエルの縮図です。しかし、ダニエルはどこでしょうか?ああ、彼はそこにいません。彼はどこですか?ああ、尋ねてください嬉しです。彼は、高い地位に上げられます。”炉の刑が始まる前に”です。イエス・キリストの教会の縮図であり、患難前の、イエス・キリストの教会携挙の縮図です。ですから、これは偶然ではありません。これは、見る目と聞く耳を持っている人のために 聖書に記録された詳細です。これは、肉と血の戦いではなく、パウロが「エペソ人への手紙6章」で挙げている 霊的存在との戦いであることを示しています。また、武具に関して、興味深く留意する点があります。 私たちに与えられている

霊的な神の武具です。私たちが立って、邪悪な炎の矢を消し去るために、6つの武具があります。これが、最初の教訓です。私たちは、「分かりました。ではこれは霊的な戦いですね。」と素早く問題なく認識できます。

**「私たちの戦いは、血肉を相手にするものではなく、支配と権威、暗闇の世界の支配者、天にいる悪の諸霊を相手にするものなのです。」 (エペソ 6:12)**

しかしそうすることで、私たちはまた、それが戦いであることを忘れがちです。説明させてください。「ええ私は、戦いが主のものであること、霊的な戦いであることを知っています。」しかし、まだ戦いであることを忘れることがあります。特に今、私たちが住んでいるこの世界は、遊び場ではなく、戦場です。私たちは戦いのさなかにいます。今は教会ごっこ、キリスト教ごっこをする時ではありません。それは深刻になってきています。生と死がかかっている、生と死だけの話ではありません。永遠がかかっているのです。永遠の命と、永遠の死がかかっているのです。2つ目。あ、待ってください。もう1つあります。これをお話しする必要があります。ガト出身で、アナキム(ネフィリム)の生き残りの一人だと信じられていたこの巨人の大きさは、敗北することが不可能だという概念があります。「大きすぎて潰せない、大きすぎて倒れない、大きすぎて敗北しない。」という表現を聞いたことがあられますね。なぜ私はこれを言及するのでしょうか？理由は、外見的に、ビッグテック巨大企業とか、その巨人があなたの人生の中で何であれ、外見的には、不可能に思えます。しかし、神と一緒になら、すべてのことが可能です。そしてそれが、2番目の教訓です。多くの場合、神は、状況があなたにとって、不可能になることを許されるかもしれません。それが神にとって可能になるようにです。時に、それが私たちにとってまだ可能なら、神は、関与されません。つまり、私たちは自身の力、私たち自身の肉の中にある時、「わたしには出来る！」となりがちです。「それはまだ可能だ。」と。すると神は決して、私たちにご自分を強制されません。私たちがお手上げになるまで、彼は辛抱強く待たれるでしょう。そして、私たちが「ああ、神様。不可能です。」となれば、それは、神の耳には心地よい音楽です。「待ちなさい。あなたは、それが不可能だと言いましたか？」「ようやくですね。待っていました。」「不可能なのですね？わたしを見ていなさい。」なぜなら、神は、不可能を可能になさる神で、それには理由があります。彼だけがその栄光を得られるためです。彼は、私たちが、絶対に不可能なところまで来るのをお許しになられ、不可能を可能になさいます。そして、彼だけが栄光を得られるのです。では、次が2つ目です。これは興味深いです。攻撃は、多くの場合、内部から来ます。私が興味深いと思うのは、ダビデがまず、彼に言いがかりをつける、実の兄と闘わなければならないからです。彼自身が犯している、”高ぶり”という言いがかりです。私は、エリアブは弟のダビデが、言わば明らかな跡継ぎだったため嫉妬していただけでなく、恨みを持っていたと考えます。王位がサウルから退けられて、サムエルが、イスラエルの次の王に油を注ぐため、エッセイの家に行くと、長子のエリアブが明らかな後継者です。しかし、サムエルは、ダビデの兄弟全員を通り過ぎます。ダビデは、そこにさえいません。彼はどこにいらっしゃるのでしょうか？羊の番をしています。まさにぴったりです。実際、サムエルは、エリアブに油を注ごうとします。サムエルは、「え？」となります。それはエリアブではありません。想像できますか？エリアブの心は、不信感で沈んでしまうでしょう。「間違いなく、自分の他の兄弟の誰でもないだろう。」と。そして彼は、他の兄弟たち、6人の兄弟とエリアブで、7人の兄弟を通り過ぎます。ダビデは、8番目です。誰もいない。そして、サムエルは、驚きます。彼はエッセイに聞きます。「あなたの息子はこれだけですか。残念ながら、彼

らの中には、イスラエルの次の王として油を注ぐ者がいません。」父親（エッサイ）は、「末の子が残っていますが、まさか、彼が、」という風です。そしてサムエルは言います。

**「人をやって、彼を連れて来させてください。その子がここに来ないうちは、食卓に着きません。」**

**（第一サムエル 16:11）**

彼らにダビデのところへ行かせ、彼を連れて来させ、ダビデが油を注がれます。

サムエルは、主に尋ね、こう聞きます。「何ですって?!」そして、主は、仰います。

**「人は目に映ることを見るが、主は心によって見る。」（第一サムエル 17:7）**

こういうことが、前に起こっていたのです。エリアブは、それを分かっていたいました。そして今、エリアブは、目の前に弟を見えています。彼は、ダビデに辛くあたり、嫉妬します。それが3番目の教訓です。嫉妬にまみれ、高ぶりに満ちたキリストの兄弟たちが、あなたを不当に非難し、攻撃してきても、驚かないでください。因みに補足させてください。前に参照したと思います。この数ヶ月間だけでも、想像もしていなかったような方法で、これが増えているのを目にしています。一オンラインで。キリストの体に、何が起こっているのでしょうか。使徒パウロが、ガラテヤ人に書いた手紙を考えます。彼はこう言っています。

**「互いにかみ合い、むさぼり合い、噂話や誹謗中傷をするのなら、（内側から）互いに滅ぼされないようにしなさい。」（ガラテア 5:15 参照）**

エリアブの不当な非難を心に留めていたなら、ダビデは肉的な人間の反応をしたのではないかと思わずにはられません。だからこそ、この詳細が記録されているのだと思います。エリアブがどれほど辛辣だったかを見るためではなく、ダビデが、いかに謙遜だったのかを見るためです。一緒にこれを考えてみてください。ダビデがこのことを心に留めていたなら、それは彼の高ぶりが兄によって侮辱された証拠です。彼の兄は、ダビデが思い上がり、自惚れていると非難しているので、なんだか興味深いのです。「自分が誰だと思っているのか?家に帰れ。」しかし彼自身こそ、自分の弟を非難しているものを持っているのです。彼の弟はそうではありません。実際、彼はその反対です。彼は、神ご自身の謙虚な心を引き継いだ謙虚な若者であり、彼が反応しなかったのは、謙虚さのおかげです。彼は気にしなかったのです。彼に少しでも高ぶり（プライド）があったなら、恐らく、「私に何と言ったのですか?」となります。それは高ぶり（プライド）です。高ぶりは燃料です。葛藤と議論と戦いのタンクに入れる燃料です。そのことについて、ヤコブに尋ねてみてください。

**「何が原因で、あなたがたの間に戦いや争いが起こるのですか。」（ヤコブ 4:1）**

高ぶり（プライド）。誇り（プライド）。しかし、あなたが謙虚で、誰かがあなたを不当に非難するときは? 「主が、私の心をご存知です。」となります。ある牧師の実話を思い出します。彼は今、主と共にいます。偉大な牧師であり、神の御言葉の偉大な教師です。ある時彼の説教後、教会の誰かが彼に来て、「牧師先生、あなたはとてもプライドに満ちていますね。」と言いました。私にそう仰らないでくださって、ありがとうございます。自分が、どのように反応するか分かりません。私だったら、たぶんあなたの方を見て…忘れてください。これ以上は言いません（笑）。しかし、私は彼が言ったことが大好きです。彼はこう言いました。「ああ、私の友よ。実際はあなたが見ている以上ですよ。」ほ〜!それが謙虚さです。謙虚さによって、勝利が来ます。それがここで、ダビデにとって鍵なのです。ダビデは、神の強さで謙虚なままだだったので、彼はすでに勝利していたのです。そして、あの大きな、醜い巨人は? 彼はすでに死んだも同然です。彼はまだそれを分かっています。ここ

で、4番目の教訓です。私は理由があつて、具体的にこのように言いたいと思います。謙遜とは、信仰が発芽し、芽を出し、聖霊の力で、聖霊の実を生み出す土壌です。私たちの聖書の学び、「箴言」を通して、謙虚さが知恵の始まりであることを繰り返し見ました。

**「謙遜には知恵が伴う。」 (箴言 11:2b)**

皆さん、それをひっくり返すことができます。「箴言」には、その反対があります。知恵が謙虚さから来るならば、愚かさが誇りから来ている ということを意味し、実際にそうです。その通りです。誇り高ぶりは、常に転落の前に先行します。例外はありません。3つ目。このことについては、第二礼拝の「第二テモテ」で少しお話しします。繰り返しになりますが、これは当たり前前のことに聞こえるでしょうが、私の言うことを最後まで聞いていただきたいと思います。主はあなたをお救いになります。さて、サウル王とダビデの間の対話が記録されている物語は、いくつかの理由で興味深いのです。そのうちの一つは、先ほど述べたように、サウルは彼を説得しようとしています。サウルはダビデにこう言います。「ダビデよ。お前はまだ若い少年だ。あの巨人は、お前が生きていた期間より長間、戦ってきて、お前のような子供を食い物にしてきたのだよ。」

**「お前に勝ち目はない。」 (第一サムエル 17:33 参照)**

そしてここでダビデは、聖霊の力によって、聖霊のレンズを通して、サウルを見ます。サウルがダビデを説得するのではなく、ダビデがサウルを説得するのです。つまり、皆さんに、ここでの対比と皮肉を考えてほしいのです。サウルは、主が熊や獅子から自分を救ってくださったと 大胆に宣言する、揺ぎ無い、粘り強いダビデに屈服します。それは、こう言っているようなものです。「サウル王、あなたには分かっていない。「あなたが理解できるよう、もう一度言わせてください。」「羊を飼っていると、熊や獅子から 羊を守ることが何度もありました。」ちなみに本文には、具体的に 熊一頭、獅子一頭とは書いていません。狼はもちろんのこと、熊が数頭、獅子が数頭いたのだと、私は主張しますそしてダビデはサウルに、言います。「主が、それらを私の手に引き渡してくださいました。」

「サウル王。もし神が、熊と獅子を 私の手に渡してくださるなら、この無洗礼なペリシテ人は、もっと簡単です。」私が、この物語の詳細で好きなのは、サウルが、「ああなんと。では行きなさい。何を言えるというのだろうか? 「行くがよい。」5番目の教訓です自分の力で何でもできていると思っていると、私たちは、大きな過ちを犯すことになると思います。私たちを救うのは主です。それは、彼の御力のパワーにおいてです。皆さん、対比といえば、理解しなければならないのは、サウルと彼と共にいる彼のイスラエルの軍隊は、すべて自分たちの強さにおいて、この巨人を見ているのです。だから彼らは恐怖で麻痺しているのです。ダビデは違います。聖なる大胆さ、聖なる強さ、そして自信があります。すぐそれについて、さらにお話ししたいと思います。この中で印象的なのは、ダビデは、サウルが自分を説得しようとしていることに対して、サウルを、説得しなければならないことです。ダビデがそれをしていること自体ではなく、もちろんそれは確かに印象的ですが、さらに印象的なのは、ダビデの方法です。彼は、過去に神が、自分のためにしてくださったことを思い出すことによって それをするのです。私の言いたいことがお分かりですか? 6番目の教訓です。私たちは、現在でも未来でも、巨人に立ち向かうときに、神が、過去に私たちの人生でしてくださったことを 思い出すのが良いでしょう。私たちの娘、ノエルが死んだ後、妻と私は、決して忘れられません。昨日のこのようです。朝、一緒に座ってコーヒーを飲みながら、時間を過ごしていました。彼女は、私の方を見てこう言いました。「神がこの状況を乗り越えさせてくださるなら、神が乗り越えさせてくださるな

いことなんてある？そして主は、私がこう言う時の、私の心を知っておられます。過去に何度も、「もう終わりだ。」と思った時に、神が私を救ってくださったことを思い出す者として、私は今日、皆さんの前に立っています「もうおしまいだ。「ありえない。」「神様、もう方法がありません。乗り越えるには、痛みがひどすぎます。もう無理です。」しかし、神は。私を乗り越えさせてくださいました。彼は、私を乗り越えさせてくださいました。繰り返しになりますが、この中に聖なる強さがあります。キーワードは“聖なる”、です。こんな感じです。あの獅子、あの熊、あの試練、あの状況、あの不可能を神が切り抜けさせてくださった！！この無割礼のペリシテ人？かかってこい！！です。かかってこい！！それが基本的にダビデが言っていることです。そんな言い方ではありませんが。

**「神が、熊と獅子から私を守ってくださったのですから、王様、この無割礼なペリシテ人など、問題になりません。」（第一サムエル 17:37 参照）**

だからサウルが言ったのです。「行くがよい。」と。「ところで、私の鎧を着けなさい。」「いいえ要りません。他にも指摘しておきたいことがあります。そうでないと、大失念になってしまうと思いますそれは”準備”に関係します。神は、ダビデのためにご準備されていたもののために、ダビデを準備しておられたのです。ヨセフについて考えます。17年ですよ。まず準備なくして、ファラオに続くほどの世界一の権力者の立場に、誰かを置かれたりしません。でないと、彼を失敗と転落に陥れてしまうことになるからです。ですからヨセフは、神が自分のためにご用意してくださったものに備えるために、すべてのことを経験しなければなりません。ダビデも同様です。すべて準備でした。私たちは、焦りの中でそのプロセスを蔑ろにしてしまうことがあると思います。「神様、何をなさっているのですか？なぜこんなことをなさるのですか？」「待っていないさい。今に分かるから。」「しかし、神様、これは辛いです。」「わかっています。」「私がしようとしているのを見ていなさい。」「でも神様～！！まず第一に、率直に言ってしまうと、ヨセフとダビデも同様に、この後の数年、彼を王位につかせる準備でした。私は、17という数字が、準備期間中の年数と関連しているのは、好きではありません。17年ですか？はい。「私はあなたを準備する必要があります。」「他に方法はありますか？」「ありません。私は、あなたに用意しているもののために、あなたを備える必要があるのです。そして、あなたが、私が何をするかを、知っていれば、ほ～！すべての獅子から、すべての熊から、神は長年に渡り、あなたを救って来られました。一準備です。どういう意味ですか？巨人が来るのですか？はいそうです。もういます。名前は言いませんが。しかし、巨大な問題です。そして、それが、私たちを準備するためのプロセスの一部です。4つ目。型にはまらない。どうかお聞きください。これは、サウルがダビデに鎧を着せ、ダビデは歩こうとするが歩けず、サウルに「これは着れません。」と言うところです。彼は、「試したことがないからです。」と言います。 ”慣れていない”という考えです再度、お聞きください。彼は、「あなたが慣習的だと思われるものに、自分は慣れていません。」と言っているのです。「私はこれに慣れていない。」と。（第一サムエル 17:39）「事実、私は、型にはまらず、主の御力でこれを行います。」これは従来の方法ですよね？これは誰もがやっていることですから。これが世の道です。世の武器。使徒パウロが「コリント人への手紙」で言うように、「わたしたちは肉において歩んでいますが、肉に従って戦うのではありません。（霊に従ってです）」（第二コリント 10:3）「私は、言わば、ありきたりな肉欲には慣れていません。」それが、9番目の教訓です。ちょっと待ってください。9番目ではなく、8番目です。メモを飛ばしてしまっていました。私を急がせようとしていますね。時間がないのは分かっている



ますが、そんなことしないでください。8番目の教訓。世の武器を身に着けるといふ従来の肉的方法に慣れてしまうと、私たち自身にとって危険になります。私たちの武器は、本質的に靈的なものです。これらの巨人に立ち向かう時、私たちは、従来の方法では戦いません。私たちの武器は、本質的に肉的方法ではありません。それは本質的に靈的です。それは靈的な戦いなのです。彼らが、イエスを逮捕するとき、マルコスの耳を切り落としたペテロについて考えます。皆さん、ペテロを愛すべきですよ。つまり、勇気、大胆さ、なんと勇敢でしょうか。彼は、ローマ軍全体に立ち向かう勢いです。そして、マルコスの耳を切り落としました。イエスは大変穏やかに、ペテロに仰います。「ペテロ、ペテロ、剣をさやに納めなさい。」（マタイ 26:52）これは肉体的な戦いではありません。靈的な戦いです。私はマルコスが、ほぼ100%救われて天国にいると確信します。イエスが、あのように耳を元に戻されたら、私なら、その場で救われていたでしょう。弟子の一人がそれを切り落とし、イエスが、「申し訳ありません。」と元に戻された感じです。私なら救われます。その場で即座に救われます。ペテロは、肉体的な武器で靈的な戦いをしようとしていました。私たちがそれをするとき、自分自身を危険に晒します。5つ目。すべてが恵みです。神の恵みによってのみ、なされたのです。神は、この5つの滑らかな石の詳細を含める必要があると 考えられたようです皆さん、神の御言葉の中の箇所、なぜ神はこの詳細を含める必要があると思われるのか、と疑問に感じたことはありませんか？なぜ滑らかな石が5つだと知る必要があるのか？理由があります。5は、恵みの数です。これは、ダビデの計画を軍事的に、神のご計画を預言的に、語っているのだと信じます。まず、これは、ペリシテ人が攻撃を開始する可能性に備えてダビデが準備していたという意味で、見事な軍事戦略でした。幾人かのコメンテーターは、5つについて示唆しています。なぜなら、ゴリアテには、あ”～名前を言ってしまいました！！”う”～～～この無割礼のペリシテ人には、4人の兄弟がいて、彼らは5つの都市を持ち、この無割礼のペリシテ人は、5つの都市の1つであるガトの出身だったらしいです。9番目の教訓。これは重要です。これをお聞きください。私たちが主が救ってくださると信頼しているからと言って…そしてもちろん主は救われますが、戦いが主のものであるからといって…そしてもちろんその通りですが、抜け目なく戦略を立てる必要がないわけではありません。使徒パウロの「コリント人への手紙」をもう一度考えます。

「（無知ではいけません。）**サタンにつけ込まれないためです。**」（第二コリント 2:11）

私は、KJV（欽定訳聖書）の the wiles of the devil（悪魔の策略）が気に入っています。その聞こえが好きです悪魔の策略に、騙されたり、無知であってはいけませんもう一度言わせてください。 the wiles of the devil（悪魔の策略）サタンは、非常に戦略性が高いです。彼は、軍事戦略家のように、戦略的に、軍事的にあなたを研究します。昔の戦時中の写真で、テーブル上の地図を囲んで 戦略家たちが戦略を練っているのをご存知ですね。皆さんを混乱させたくありませんが、サタンは、テーブル上に、皆さんの人生の地図を広げています。素敵な午後をお過ごしください。そして彼は、皆さんを破壊する方法を練っています。それが、パウロの言っていることです。そして、それが、ダビデのしていることです。戦略的に抜け目がないと同様、この神の恵みも、類型論という観点で、預言的でした。繰り返しますが、5は、恵みの数です。皆さん、十戒をご存知ですか？第5の戒めは、唯一の恵みです。他の9つの戒めはすべて、「汝はこれをしてはならない。汝がそれをした日には 汝は殺される。」ですが、あなたが第5の戒めにたどり着くと、私の両親は、私にこれを暗記させました。

「あなたの父と母を敬え。あなたの神、主が与えられるその土地で、あなたの日々が長く続くようにするためである。」（出エジプト記 20:12）

第5の戒めは、唯一、恵みの戒めです。もう一つあります。聖書を通して見受けられることです。アブラハムとサラの名前の5番目の文字、恵みが、彼らの名前とその性質を変えるために置かれましたもはや”Sarai/サライ”ではなく、“Sarah/サラ”。もはや“Abram/アブラム”ではなく、“Abraham/アブラハム”。彼らの名前の5番目の文字が、すべてを変えました。恵みはすべてを変えます。エペソ人への手紙2章8-9節、皆さん良くご存知だと思います。

「事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。」（エペソ 2:8）

私たちは読み飛ばしがちですが、”恵みにより、信仰によって（信仰を通して）”です。ここですぐにわかることです。先走ってしまいそうのでできないので、ここで教訓です。私たちの人生の中で、巨人を倒せる唯一の方法は、神の恵みを通してです。他に方法はありません。それはすべて恵みです。6つ目。そこからではなく、そこへ向かって走る。私にとって、皆さんに聞こうとしていた質問の答えなのですが、ダビデが、神が無割礼のペリシテ人を彼の手に渡されることに、それほどまでに自信を持っていた理由を知りたいですか？なぜなら、48節に、ダビデは、巨人に向かって走ったと書かれているからです。あえて言うなら、この巨人にとって、誰かが彼に向かって走り、自分から逃げないのは、恐らくこれが初めてだったでしょう。「ああ、これは初めてだ彼は何をしているのか？」ダビデは彼に向かって走りました。揺るぎない大胆不敵さです。そして、11番目の教訓です。私たちが信仰に足を踏み入れたとき、私たちは信仰によって恵みを通して、救われるのです。信仰がなければ、主を喜ばせることは不可能です。（ヘブル 11:6）つまり私たちに信仰があれば、主はとてもお喜びになるのです。神が、私たちが信仰の中に踏み出すのを ご覧になると、ほ〜〜！信仰。信仰とは期待されていることの実体。強い言葉ですが、まだ見えないものの証拠、法医学的証拠です。（ヘブル 11:1 参照）これで決まりです。私には、法医学的証拠があります私はそれを見ていませんが、私は信仰によってそれを信じています。皆さん、人々がこう言うのをご存知ですね。「見る事が信じる事（百聞は一見に如かず）」そうではありません。信じる事が、見る事なのです。信仰によって信じると、神が何をなさるか分かります。ああ、それって、福音書のイエスをご存知ですよ？つまり、信仰をご覧になられると、彼はすべてを止め、それに目を注がれました。彼は、ある意味では感心したと言えるのではないのでしょうか。「私は、これほどの信仰を見たことはありません。」（ルカ 7:9）ああ、信仰があるなら、私は何でもしよう、というような感じです。イエスが、故郷のナザレに行くとそこにいる人たちは皆、彼を見て、「オムツをしていた頃の君を思い出す。」と言います。成長してから誰かに、幼いころの自分を覚えている、と言われるのは、嫌じゃないですか？どうでもいいことです。しかし、彼はそこで、少しだけしか奇跡を行われませんでした。こんな風に言ってもよろしいですか？預言者は自分の故郷では、敬われないので 巨人を倒すことは、ほとんどありませんでした。（マルコ 6:4 参照）人々が、彼をそう見ていないからです。だから彼らは信じないのです。信じる者が見るのです。あなたが、神は何かをなさると信じると…事実、ご存知ですか？これは聖霊からだと思います。ご辛抱ください。私が、この質問をするとき、何を思い浮かべますか？こんにちのあなたの人生で、神にして頂きたいと思っていることで、あまりにも巨大なことはありますか？そして、神がそれを行われると信じていますか？それが御心なら、彼がなさらないことなどあるでしょうか？

それが、あなたの善と神の栄光になるのなら、彼はそれをなさないことなどあるでしょうか？ そうだとしたら、まだなぜそれが起こらないのでしょうか。恐らくそれは、イエスに「信じます。信仰のないわたしを助けてください。」（マルコ 9:24）と言った人のようです。信仰のないわたし。

11 番目の教訓です。繰り返しますが、私たちは信仰に足を踏み入れ、口があるところに、信仰を置くのです。そうすると、神がなさることが見えるのです。最後に7つ目。再度、当然のことですが、敵は、敗北した敵ですここでは、ダビデが石を投げ、巨人の額を打ったと語られています。そして、ダビデの手に剣もなかったと語られています。もちろんありません。石投げ紐と滑らかな石が4つだけが残っています1つの石は、打つべき場所、つまり武装していない額に命中しました。相手は、金属の鎧兜で、重さがどれだけあるかわかりませんが、武装していますから。この額の小さな的に、まさにその場所に、撃ち込んだのです。そして私たちには、その石がペリシテ人の額に”食い込んだ”という詳細が語られています。再度、翻訳に依りますが、その場で彼は息絶え、うつ伏せに倒れた、と語られています。さて、ダビデは剣を持っていないので、何をするのでしょうか。彼が何をするのか、語られています。「ああ、剣が1つそこにある。」「彼の剣を使おう。」想像できますか？17歳のダビデが、恐らく150ポンドもある剣を持ち上げます。超自然的に。彼はこの醜い頭を持ち上げ、皆に見せるため切り落としました。なぜでしょうか？彼はすでに死んでいます。なぜ、それをする必要があるのでしょうか。彼が、石で相手を殺す前に、相手に言ったことを覚えていますか？ 因みに、その岩（石）は、敵を倒すキリストの予型です。敵は、敗北した敵です。しかし、なぜ彼はそこまでする必要があったのでしょうか？ 理由は、ダビデが相手にこう言ったからです。「わたしは、お前を討ち、お前の首をはねる。疑いなく、紛れもなく、決定的になる。」エラの谷やイスラエルに行ったことがある方は、ご存知だと思いますが、あなたは遠く離れた距離にいるかもしれません。谷間を見下ろしても、巨人が倒れたのを見ただけです。見る限りでは、彼は意識を失っただけかもしれません。彼が、死んだかどうかは分かりません。それで、ダビデはどうするのでしょうか？「彼はなんと、ああ、見ていられません。」彼は、相手\_\_\_\_\_の頭を切り落とします。彼の名前、チャンピオンは口にはしませんそして、彼はその首を持っているのです。ああ、大変気持ち悪いです。もはや（死んでいることは）確定ですね。なぜでしょうか。彼らが、私の神が誰であるかを知るためです。差し支えなければ、もう一步踏み込んだ話をさせてください。「私の神をそんな風に侮るな！」中々良いでしょうか？ さて、時間がないので、落ち着いてください。神が、敵自身の敗北に、敵の武器を使われるのは、初めての事ではありません。「エステル記」のハマンを考えてみてください。モルデカイをかけるために用意していたまさにその絞首台で、彼自身がかけられることになります。すぐに要点にたどり着きますので、ご辛抱ください。これが最後の教訓です。12番目。私たちの人生の巨人が、私たちが滅ぼそうとするまさにその手段を、最終的に、神は彼らを裁くために選んでお使いになるのです。彼らを裁かれるのです。彼らの時が来ます。確かに今は、それは不可能に見えます。「私たちが直面していることがわかりますか？」「いいえ、待っていなさい。今にわかるから。」「でも、見るのが信じることです。」「違います。信じるのが見ることなのです。」「私が何をするつもりか教えても、あなたは信じないでしょう。あなたはそれを信じないでしょう。」「しかし、信じる人は、私が何をするのかを見るのです。」「ああ、でも彼らは、大きく見えます。」「そうですね。」「彼らは、強力です。」「はい、そうです。」「彼らには支配力がありません。」「はい、そうです。」「マウスをクリックするだけで、消されます。」「はい、彼らには可能です。」「しかし、神は。興味深くないでしょ

うか？ ソーシャルメディアに関し、敵は悪を企みましたが、神は、イエス・キリストの救いへと、多くの人々を導かれるために、彼ら自身の武器を用いられました。頼みますよ！ では、これで締めくくります。私たちは終わりの時にいます。そして、これがその証拠です。私たちはそれについて、預言的に予言されていました。敵は敗北した敵であり、彼は時間が短いを知っています。だからこそ、今起きていることが今起きているのです。彼は、自分に時間があまりないを知っています。願わくば、多くのクリスチャンが、 私たちには、多くの時間が残されていないのを知ってくださればと思います。神は裁かれ、神はサタンを滅ぼされ、火の池に彼を投げ込まれます。（黙示録 14:10 参照）

ところで、大きな誤解があり、私は大変申し訳なく思っています。このことで、最前列の席を確保したいというコメントをしました。私が『地獄に落とされる人々を見たい』と話していると、思われた方がおられます。決してそんなことはありません。サタンが投げ込まれる時に、最前列の席が欲しいのです。それを見たいからです。ところで、黙示録の中に、私たちが彼を見る時の言及があります。私たちは、「あれが、国々を欺いた者なのか？！冗談だろう？！」となります。逆に、イエスを見るとき、彼を屠られた小羊として見るので、私たちは、縮み上がるでしょう。そして、ここにこの創造物、被造物、この敵がいます。因みに非常に美しいのです。私たちはショックを受けるでしょう。まず第一に、彼が赤いタイツは履いておらず、ピッチフォーク（熊手）を持っていないことにショックを受けるだろうと思います。分かりませんが。再度、馬鹿げた例えをお許してください。ここに問題があります。さっと迅速にそれに対処したいと思います。ご辛抱ください。もう終わります問題は、敵が時間が少ないのを知りながら、可能な限りの多くの命を奪い、殺し、滅ぼそうとしている事です。再度、繰り返すことをお許してください。だからこそ、こんにち起きていることを目の当たりにしている理由が分かります。それはすべてこの霊的な領域にあり、時が迫っています。決断の時です。先週の「聖書預言・アップデート（タイトル：決断の時）」が恋しいです。決断の時です。この決断には、永遠の命がかかっています。これが、私たちが毎週「聖書預言・アップデート」を行う理由です。イエス・キリストの福音を、毎週分かち合うのはこの理由からです。これが、私たちが毎週、子供にでもわかる救いの説明、「救いのABC」を共有する理由です。福音とは何でしょうか。福音とは良い知らせです。良い知らせとは何でしょうか。良い知らせとは、イエスが来られ、あなたの身代わりに十字架で死なれ、葬られ、しかし、死を打ち破り、3日目によみがえられたことですそして、彼は御父（神）の家に、私たちのために用意くださった場所に 私たちを連れて行くため、私たちを、この世から連れ出すため、いつか再び戻って来られます。それが、良い知らせです「救いのABC」は、言わば、罪の赦しと救いのために キリストを信頼するという子供のようなシンプルさを 誰かと分かち合う方法、簡単な方法、テンプレートです。A：自分が神に背いた罪びとであるのを、また 自分には救い主が必要であると Admit/認める または、Acknowledge/認識する。ローマ人への手紙 3章 10節にはこう書かれています。「正しい者はいない。一人もいない。」ローマ人への手紙 3章 23節がその理由を教えてください。「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっている。」

ローマ人への手紙 6章 23節、「罪の報酬は死です。…」これは死刑宣告です。私たちは皆、生まれながらの罪びとであり、それが天の御国に入るために、新たに生まれなければならない理由です。どうやって新たに生まれるのでしょうか？ 神の賜物によってです。「…しかし、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」（ローマ人への手紙 6章 23節）それがAです。次にB。大変シンプルです。B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると 神がイエスを死からよ

みがえらせたことを、Believe/信じる。ローマ人への手紙 10 章 9～10 節、 「心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、 あなたは救われるからです。」

そして最後に C。C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。再度、ローマ人への手紙 10 章 9～10 節、「口でイエスは主であると公に言い表わし、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、 あなたは救われるからです。」その理由はこうです。

「**実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。**」(ローマ 10：10)

最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節です。『主の名を呼び求める者は誰でも救われる。』

呼び求める者は、全て、です。大変シンプルです。大変簡潔です。皆さんに、いくつかの証を、手短かに共有してよろしいですか？ これは、ユタ州のオンラインメンバーのブライアンさんからです。「こんにちは、J.D. 牧師。妻と私は、数ヶ月間あなたの『預言アップ』を見てきました。毎週楽しみにしています。私たちは、あなたのオンラインミニストリーにとっても感謝しています。妻と私が心から愛した、私の亡き義父を思い出させてくださいます。少し前、ビルボードの話がされた時に、ユタ州にビルボードを出してみたいと思いました。あなたが預言アップの終わりに話される『救いの ABC』のシンプルさが大好きです。JDFarag のウェブサイト上のフォーラムで、いくつかのデザイン案を見つけました。これは素晴らしい情報源でした。現在、オグデン、ソルトレイクシティ、プロボの間の交通量の多い地域に、現在 5 つのビルボードがあります。(設置するのになんともふさわしい場所ですね…)

(言うのはそこまでにします。ビルボードは、4 週間ごとにローテーションされ、このメッセージは新しい場所に移動しながら、より多くの人に届くようになります。2021 年ほぼずっと、掲げられます。また、1 ヶ月間、デジタルビルボード広告を無料で提供できることになりました。オグデン近くの高速度道路沿いの場所を選んでみました。調べに行ってみると、国営酒屋の駐車場の真上に位置していることが分かりました。」(あ～、良いですね。さらに面白くなります。)

「制約があるため、一度に一定数の人数しかお店に入れません。人々は、その間、お店の外で並んで待たなければいけません。このビルボードの真正面に向かってです。だから、酒屋に入る順番を待っている間に、『救いの ABC』を目にすることになるのです。神だけが御出来になる事です！ 一拍手 一いつか天国でお会いしたいです。(すぐにそうなると信じています。) あなたとあなたのミニストリーに神の祝福を。キリストにあるあなたの兄弟、ブライアンより。」

次は、ジェシー・ケスラーさんが、Facebook に投稿してくれました。「あなたのサインが大好きです J. D. 牧師。ネブラスカ州の田舎町からです。」さて、最後にもう 1 つ。これが最後の最後です。私は、あるオンラインメンバーに喝采を送りたいです。え～っと、その方は、少々お待ちください。すみません。レンハートさんだと思います。そうですね。はい。素晴らしいご家族です。皆さん、私のシャツに気づきましたか？ いいでしょう？ (満面の笑み) 私の色ですよ？ オンラインメンバーからのクリスマスプレゼントでした。レンハートさんから頂きました。皆さん見えるかどうか分かりませんが、「救いの ABC」の柄です。一(笑)一 一拍手一 私がこれで歩くビルボードになれるとお書きなので、彼らに喝采を送りたかったのです。福音を恥じません！！ ご起立ください。祈りましょう。皆さんのご忍耐に感謝します。主よ、どうもありがとうございました。神よ、あなたはとても良いお方です。本当に良いお方です。あの曲を思い出します。

♪神よ、あなたは、私にとっても良いお方です。♪あなたは、いつも本当に私によくしてくださいます。永遠に賛美します。♪(賛美チーム) 上がってきてください。賛美チームのために、賛美チームの代わりはしたくありませんよ。宜しければ一緒に。皆さん、この曲を知っていますか？ (賛美チーム)

これ歌えますか？この歌を知っていますか？ ♪神よ、あなたは、私にとっても良いお方です。♪ ♪あなたは、いつも私によくしてくださいます。♪ 皆さん、助けてください。一緒に。♪永遠にそれを歌います。神よ、あなたはとても良いお方です。♪ ♪神よ、あなたはとても美しいです。あなたはいつも、とても美しいです。♪ ♪あなたの祝福もまた、とても豊かです。神よ、あなたはとても良いお方です。♪ ♪あなたを褒めたたえ歌いたい♪ 皆さん、助けてください。一緒に。勘弁してくださいよ～ ー(笑)ー 私一人でやってみます。 ー拍手ー

私に、また一緒に笑ってくださるのは、健全なのかもしれませんね。分かりませんし、気にしません。私たちは、永遠に主への賛美を歌い続けるのです。神は大変良いお方です。主よ、ありがとうございます。神の祝福を。(賛美チーム) まだやりたいですか？ ー(笑)ー 今後は微妙ですね。どうしますか？これで終わりにしますか？ 私は、完全に全部台無しにしまいました。(笑) 神の祝福を。良い一週間をお過ごしください第二礼拝にもぜひ参加されるのをお勧めします。オンラインの方、神の祝福を。御心なら、またすぐ後ほどお会いしましょう。よろしいですか？以上です。 ー拍手ー

-----  
メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7